

1 胃の中の栄養剤や水の排出

実習後は胃の中にたまっている栄養剤や水を排出します。

(ベッドでの実習の場合)

まずモデル本体をベッドの端の方に寄せて、両手でモデル本体を持ち、モデル本体を手前側に傾け、排水ホースより胃の中の栄養剤を排出してください。



(机での実習の場合)

支持台の上に設置しているモデル本体を両手で持ち、モデル本体を手前側に傾け、排水ホースより胃の中の栄養剤を排出してください。



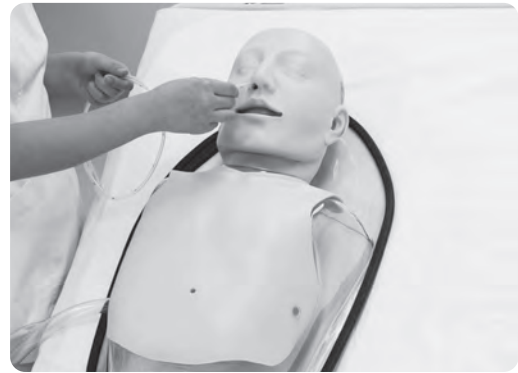
.....
モデル本体を持ち上げ傾ける場合は十分に注意して行ってください。
モデル本体に2か所持ち手部分を設けていますのでご活用ください。

② 栄養カテーテル内の洗浄

栄養剤を注入したカテーテルやチューブを本体より取り外す前に、簡単な洗浄をしてください。

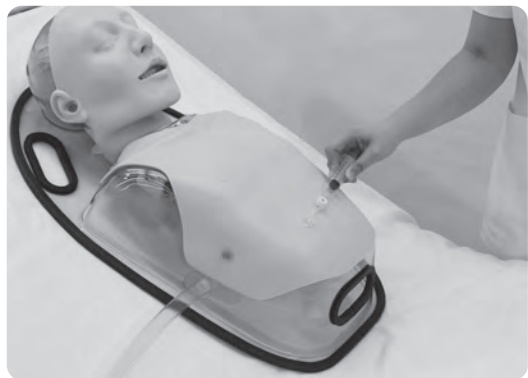
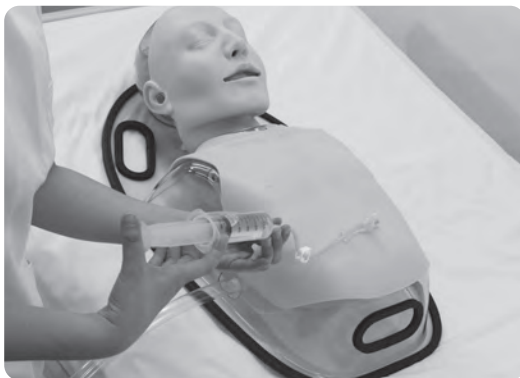
(経鼻栄養カテーテルの場合)

カテーテルチップ型シリンジで、経鼻栄養カテーテル内に微温湯を注入しカテーテル内をきれいにしてください。洗浄後、経鼻栄養カテーテルをモデル本体より抜去します。



(胃ろう栄養カテーテルの場合)

胃ろう接続チューブにカテーテルチップ型シリンジをつなぎ、微温湯を注入してチューブやカテーテル内をきれいにしてください。洗浄後、胃ろう接続チューブやカテーテルをモデル本体より抜去します。

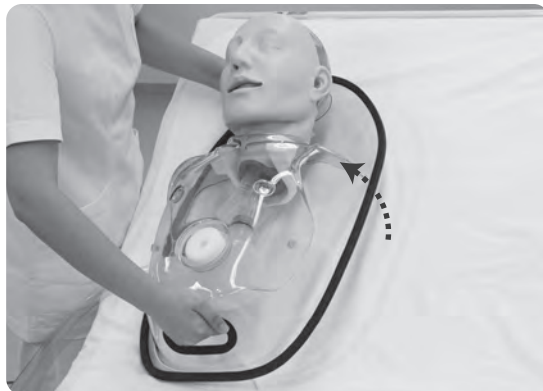


.....
 固定した胃ろうカテーテルの場合には、シリンジをカテーテルのバルブにゆっくり差し込み、バルーン内の空気を抜き取り、完全に収縮させます。
 そしてゆっくりと慎重に引っ張り、抜去してください。

③ 胃の中の洗浄と排水ホースの取り外し

カテーテルの抜去後、改めて胃の中を微温湯で洗浄します。モデル本体を手前側に傾け排水します。排水用ホースから栄養剤が混じっていない透明な液体がでるまで胃の中を洗浄してください。洗浄後排水用ホースを取り外します。

(ベッドの場合)



(机の場合)



洗浄後排水用ホースの取り外しはフラットなテーブル上にモデル本体を移動してからの方が作業は楽に行えます。



注意

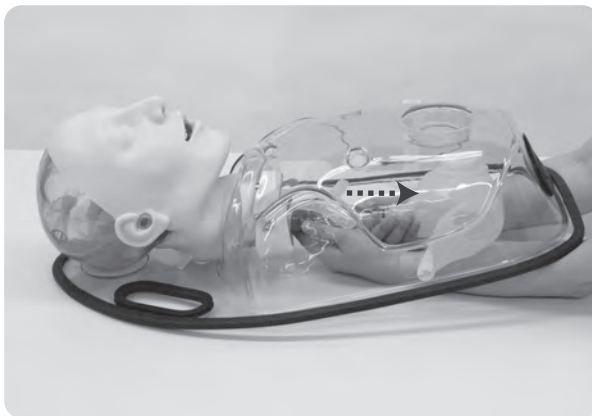
排水ホースの取り外し時に、胃を持ったままモデル本体の外枠を持ち上げないでください。胃と胃ろう部の蓋が外れてしまう恐れがあります。

4 構成部品の取り外し

1. 胃ろう部を反時計回りに回転して、胃部より取り外してください。



2. 次にボディの片側を持ち上げ隙間をつくり、食道部を頸部から取り外します。この時片手で頸部を支え、もう一方の手で食道部を持ち、ひっぱりながら食道部はずします。



3. 食道側と胃側のワンタッチジョイント部を持ち、胃部を引っ張って取り出してください。



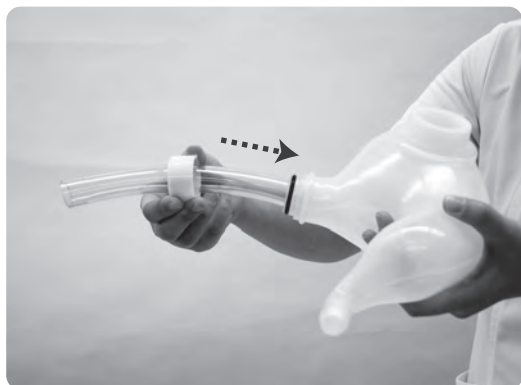
取り外した構成部品

洗浄に関して

部品をふり洗いし、充分乾燥させてください。必要時、次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）で消毒をしてください。（消毒時間や方法は消毒剤のホームページなどをご参考ください）。

5 部品のセット

1. 胃を取り付けます。食道部チューブの下方向がアールになるように持ちます。食道側のワンタッチジョイントと胃部を持ち、胃の穴に食道部をカチッというまで差し込みしっかり固定してください。

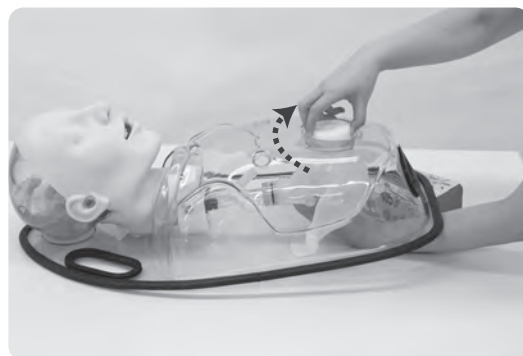


○ 正しい取り付け方向



× 誤った取り付け方向

2. 食道部を頸部に差し込むように取り付けます。この時片手で頸部を支え、もう一方の手で食道部を持ちしっかり差し込みます。次に胃部を片手で持ち、胃ろう部を時計回りに回転して胃部に取り付けます。



3. 皮膚を取り付ければセット完了です。各製品のセットはそれぞれ洗浄後十分に乾燥させてから行ってください。



ご使用中にトラブルが発生した場合は、下の表にしたがって確認して下さい。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店もしくは(株)京都科学（TEL075-605-2510 又は 03-3817-8071）までご連絡ください。

症状	原因	対策・対処
カテーテルが挿入できない。	カテーテル径が、推奨しているカテーテルよりも太い。	実習用の栄養チューブは14Fr、胃瘻カテーテルは20Frを使用してください。
	カテーテルに潤滑剤を塗布していない。	カテーテルとシミュレータの鼻腔内に、当社が指定する潤滑剤をご使用ください。
気泡音が聞こえない。	胃に水を注入していない。	胃に水を約300cc注入してください。
	胃ろうカテーテルを空気でバルーン固定していない。	胃ろうカテーテルを空気でバルーン固定してください。
	食道部の取り付け角度が誤っている。	食道部の取り付け角度を確認し、再度食道部と胃部を取り付けてください
胃液の吸引ができない。	胃に水を注入していない。	胃に水を約300cc注入してください。
胃液を吸引できるが、濁った色である。	前回の実習で使用した栄養剤が胃に残っている。	栄養剤を1パック注入するたびに、モデル本体を手前側に傾けて、胃に貯留している液体を廃棄してください。それから水を約300cc注入してください。
胃や排水ホースに汚れが付着して取れない。	前回の実習後の洗浄で栄養剤を落とし切れておらず、細菌汚染されている。	新しい部品に交換してください。



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにして下さい。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。



株式
会社

京都科学

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp



■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510 (直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071 (直通)
FAX:03-3817-8075

2012.03